

ロシア語講師として歩む今



若い頃から成長を現守ってくれた女性部員の同志と(中央が杉原さん)

「横浜市鶴見区」都内の語学学校で、ロシア語講師を務める杉原盛香さん(37)副白ゆり社長。省庁や商社など、現地に重要な交流のある社会人らを相手に、会話、読み書きを教えているとある会談室。

「3月10日、ボロネ、ボロネ(ロシア)」「Ona en 60(あがりかとう)」「ビデオ通話を介し、マンツーマンで生徒と向かい合っている杉原さん。現在の職場は、勤続約9年。目、コロナ禍前を思いついて、対面での授業が減ってしまったことが少し寂しい。

昨年2月24日。テレビで流れたニュースに、目を凝らした。あまりに受け入れがたい光景が、静かなりピンと来なくて、涙が溢れ出されていく。爆撃を受けた建物…画面の向こうで、戦火は広がっていき、「親愛なる存在が目の前で暴力にさらされていくのを、何もできずに見せられていく気がした。ウクライナの人々が浮かべる苦悶の表情、有無を言わずに現実に、やるせなさを感じた。

都内の駅であったロシア語の案内表示が、「不快」という利用者の声で隠された。ニュースで報じていた。「自分自身を否定されている気がしました。長く引く戦火で、日本企業が相次いでロシアから撤退。杉原さんの勧め先でも、生徒が激減した。

ロシア語を必要とする人がゼロになっただけではない。逆風の中で、日口の間に立つ目の前の生徒に、あすを託すような思いで授業に臨んだ。

何のために自分はいはるのか。教師のために、思い悩む日々が続く。杉原さんを支えていたのは、高校時代の原典と、言葉が今を紡いでくれたという美惑だ。

「ロシア語は私を形づくつていて大切な一部。高校まで不登校に悩んだ時期を支えてくれたのが、語学だった。今なお揺れる国際情勢の中で、言葉が果たし得る役割と向き合い続けている。

小学生的な時、いじめがもとで不登校に。教科書を見ただけで、気分が悪くなる。家で書き込んだ毎日。これ、一緒にやってみようか。ある日、父・英治さん(66)支部長が手作りの計算

大学3年生、モスクワ大学の交換留学を勝ち取る。初めての海外に、寮生活。言葉の壁にも苦心した。戸惑う杉原さんを支えてくれたのは、現地の人々だった。ゆつくりと話しながら、会話のコツを教えられた学食の女性。友達として悩みを耳を傾け、いろいろな場所にも連れて行ってくれた同年代の姉妹。果ては、ロシアの地を離れて、行く先で目にした。その広大さは、人の中にもありま

危険を受けて、杉原さんは現地の友人と連帯を取った。ロシアの原風景を見つけたあの姉妹は、妹がモスクワに残り、姉は結婚した相手の生まれ故郷に帰る。会えない寂しさと怒りを語っていた。

「戦争は絶対に回避すべきです。一方で、別の友人から攻撃を受け、シヨクだった。『戦争は絶対に回避すべきです』と決まっていた。『留学する』の言葉を返ると、『留学する』の言葉が、心を通わされてしまふこと。悲しい。憎悪に任せ、ロシアへの訪問には心がきむ。『知らない怖さ』を、杉原さんは思った。

「ロシア語は私の、冬の季節を支えてくれた、きょうういみたいなもの。だから一生付き合っていく。新しい言葉を、心を温められてきた。傷つけ合う武器でなく、つながるための言葉の力。『言語は一つのレンズ。文化を知るの

周田は心配だが、初めての夢を諦めなかった。『創大に行きたい』。思いの丈を題目に込める。受験勉強を進めながら、行き詰まっていた時はロシア語のテキストを開き、気持ちを奮い立たせた。そうして臨んだ2005年(平成17年)12月、合格の通知が「よく頑張ったね!」。涙ながらに母が抱き締めてくれた。胸のぬもりが、受かった実感と一緒にじんわりと胸に伝わる。直後に参加した本部幹部会の中継で、池田先生は同志呼びかけた。

「勝った門をくぐる。創立者との出会いを、入学式で刻んだ。『見たことのないくらい、空が青い日でした』。

「傷つけ合う武器でなく、つながるための言葉で」という池田先生の指針を胸に、ロシア語と生きる。

「いじめは、はじめた側が100%悪い」。母がくれた希望対話。池田先生が、自分に語りかけてくれた。『こんな場所で、勉強して通信制高校に入って2年。テレビでロシア語講座の番組が、日本語にはない独特な響きがあった。』

「一度だけ、父に連れられてキヤンパスを訪れたことがあった。『分かった、が楽しい。母、理恵子さん(67)支部副女性部長も、国語と理科を受け持ってくれた。』

「『いじめは、はじめた側が100%悪い』。母がくれた希望対話。池田先生が、自分に語りかけてくれた。『こんな場所で、勉強して通信制高校に入って2年。テレビでロシア語講座の番組が、日本語にはない独特な響きがあった。』

「一度だけ、父に連れられてキヤンパスを訪れたことがあった。『分かった、が楽しい。母、理恵子さん(67)支部副女性部長も、国語と理科を受け持ってくれた。』

「『いじめは、はじめた側が100%悪い』。母がくれた希望対話。池田先生が、自分に語りかけてくれた。『こんな場所で、勉強して通信制高校に入って2年。テレビでロシア語講座の番組が、日本語にはない独特な響きがあった。』

「一度だけ、父に連れられてキヤンパスを訪れたことがあった。『分かった、が楽しい。母、理恵子さん(67)支部副女性部長も、国語と理科を受け持ってくれた。』

目立たない驚きの小ささ!高音質8チャンネルのデジタル補聴器 ONKYO

不要な雑音はカットし、聴きたい音を拾います。

ご購入先着100名様に 専用電池2パック (12個入り) プレゼント! 電池寿命連続使用約150時間



高い音質でイデオア愛好者も愛用する、日本が誇る音響機器メーカーの老舗「オンキヨー」。

オンキヨー 耳あな型デジタル補聴器 (OHS-D21) 商品 KH-ODE4 右耳用 メーカー希望小売価格49,800円(税別)のこ

商品 KH-ODE5 左耳用 40%OFF 29,800円(非課税) 商品 KH-ODE6 両耳用 43%OFF 56,600円(非課税)

耳にフィットするから、外れにくく快適なWドーム耳せん。傘部分が二重になったWドームは、ハングリングの原因となる音漏れを抑制します。

右用、左用が選べるオーダーメイド感覚の装着感 医療機器検査番号 第230ABR2X0073A02号

耳あなにスッポリと隠れる小型3チャンネルタイプ

別売品 商品 KH-KDP4 専用電池4パック (24個入り) 税込3,300円 商品 KH-KDPX 専用電池10パック (60個入り) 税込7,260円

セット内容 スピーカー 充電電池2個 ※本体に充電電池1個入った状態で出荷。充電電池は別売です。

ONKYO オンキヨー株式会社 1946年、株式会社大阪電気音響社として設立。「人々の共通の楽しみである音楽の娯楽目的を再生素音の再現」を理念とし、オーディオコアを掲げる数々の名機を生み出してきました。70年以上にわたる歴史の中で、オーディオコアコアの分野でも顧客と感動を提供し続けていくことを目指しています。

軽度~中等度難聴まで対応! 「ONKYO」[Onkyo]は「オンキヨー株式会社」の愛称です。製品名は「ONKYO」です。ONKYOは「オンキヨー株式会社」の愛称です。製品名は「ONKYO」です。

この商品はインターネットでもご購入いただけます。 http://21.forumkaya.co.jp